
ロックンロール大将テイク 2

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ロツクンロール大将テイク2

【Nコード】

N4318Z

【作者名】

ごほんライズ

【あらすじ】

ある雨の日の陰鬱。激しく降る雨。悲しい気持ち。嗚呼……短い。

(前書き)

前書きはまた今度書きます！

雨が降っていた。悲しみの雨だ。あるいは、神様がバカにして、雲の上から小便を撒き散らしておるのか。勝沼寛一はふられたのが辛くて辛くてびしょ濡れになりながら街をさ迷った。

ざああああああ。

こういう擬音を使うと読者の評判が悪いがしょうがねえ。これがオレのスタイルなのだ。まあしかし読者の意見は大事ゆえに参考にはする。読者は悪魔であると同時に神様だ。まあ人間でもあるけど。

寛一のケータイに着信音。

「あつ寛一先生。今日、授業ありますよっ何してんですかっ」

「彼女にふられてしまっ……」

「やかましいです！　すぐに来てください。たけし先生が五人も見ている目を回してますよっ」「はい……」寛一は急いでアパートに戻り、シャワーを浴びて着替えた。仕事を無視したら解雇されて餓死する。社会人の辛いところだ。学生時代に戻りたい。

(後書き)

あとがきは暇を見つけて書きます！いま暇を探しています！きっと
発見してみせます！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4318z/>

ロックンロール大将テイク2

2011年12月14日22時45分発行